

心地いい読書を貴方に

文字を読みやすくするためのしおり

提案の背景

読書をしている時に目が疲れてしまったり、同じところを何度も読んでしまうといった経験は少なくない。とあるニュースで識字障害” ディスレクシア” について知り、文字をうまく認識できない怖さを私は知った。そこで私は障害者の人、読書が苦手な人、もちろん読書が好きな人にも楽しんで心地よく読書ができるような読書にはかせないしおりを提案したいと考えた。

ディスレクシアとは

通常会話は普通にでき、標準域の知識を持ち合わせていながらも文字情報の処理がうまくいかない状態のことである。
音と文字を繋げ操作する能力が弱い
文字の感じ方が異なる
文字のバランスが取りづらくまっすぐ揃えてかけないなどの不便さを抱えている。

ディスレクシアの症状

情に酔わせば流される。智に動けば角が立つ。どこへ歸しても住みにくいと信じた時、詩が生れて、画が出来る。とかくに人の世は住みにくい。意地を通せば窮屈だ。
どこへ歸しても住みにくいと信じた時、詩が生れて、画が出来る。意地を

にじむ

情に酔わせば流される。智に動けば角が立つ。どこへ歸しても住みにくいと信じた時、詩が生れて、画が出来る。とかくに人の世は住みにくい。意地を通せば窮屈だ。
どこへ歸しても住みにくいと信じた時、詩が生れて、画が出来る。意地を

ぼやける

情に酔わせば流される。智に動けば角が立つ。どこへ歸しても住みにくいと信じた時、詩が生れて、画が出来る。とかくに人の世は住みにくい。意地を通せば窮屈だ。
どこへ歸しても住みにくいと信じた時、詩が生れて、画が出来る。意地を

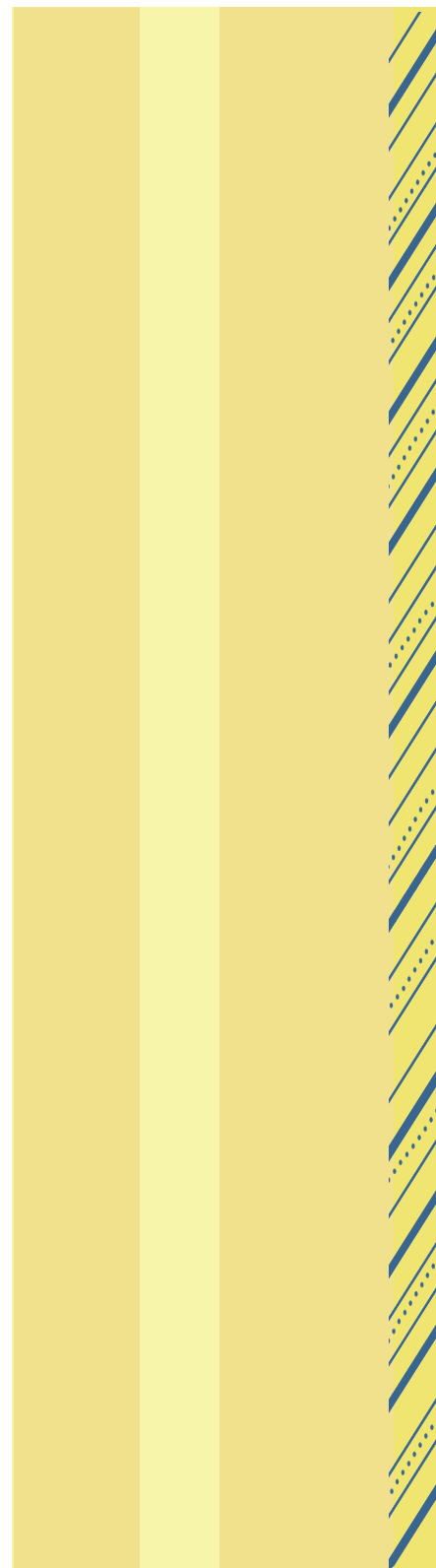
曲がる

情に酔わせば流される。智に動けば角が立つ。どこへ歸しても住みにくいと信じた時、詩が生れて、画が出来る。とかくに人の世は住みにくい。意地を通せば窮屈だ。
どこへ歸しても住みにくいと信じた時、詩が生れて、画が出来る。意地を

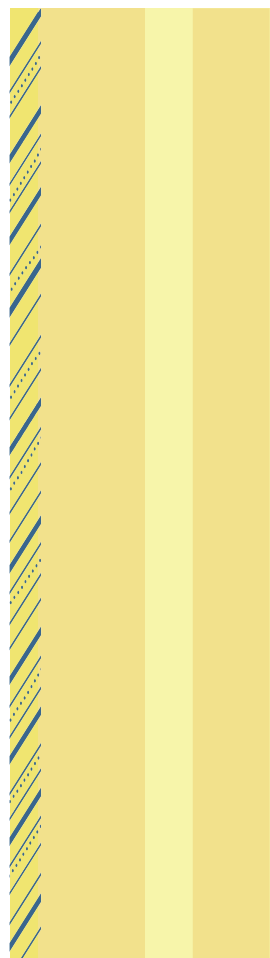
反転する

MUD ポイント

大



小



Size

- ▽文庫本や教科書をはじめ様々なサイズの本に使えるよう、
大小 2 種類を用意
- ▽縦横どちらの使い方でも一行分の文字が収まる長さに調整
- ▽幅 3.5cm× 長さ 15cm：小（文庫本などに）
- ▽幅 7.5cm× 長さ 23cm：大（大きめの教科書などに）

Color

- ▽色弱の人と健常な人がほぼ同じ色の名前で呼ぶことが可能
- ▽「水色」と「黄色」をベースの色に使用
- ▽「水色」には冷静さと判断力を高める効果あり
- ▽「黄色」には脳の働きを鮮明にする効果あり
- ▽2 色とも本を読むことにも適している

Design

- ▽自由に動かすことが出来る
- ▽取っ手を作り動かしやすく
- ▽取っ手の柄で華やかに
- ▽横書き、縦書き、右利き、左利きなどフレキシブルに対応
できるよう裏表使用可能